

平成 26 年度第 2 回 八千代市子ども・子育て会議 議題

「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みについて（補正版）

I . 教育・保育の量の見込み及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み（総括表）

教育、保育の見込み量の概略は以下の通りです。なお、各項目の番号順に補正の手法について次頁以降で説明します。

●教育・保育の量の見込み（幼稚園・認定こども園・保育園）

単位（人）

教育・保育	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(1)1号認定(3～5歳児)	3,129	3,014	2,950	2,852	2,765
(2)2号認定(3～5歳児) (学校教育の利用希望強い)	391	377	369	356	346
(3)2号認定(3～5歳児) (保育園等利用)	1,610	1,551	1,518	1,467	1,423
(4)3号認定(0歳児)	223	213	207	201	200
(5)3号認定(1～2歳児)	892	849	814	788	782

●地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

地域子ども・子育て支援事業	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(6)時間外保育事業	1,322 人	1,267 人	1,230 人	1,191 人	1,167 人
(7)放課後児童健全 育成事業(1～3年生)	1,532人	1,506人	1,460人	1,439人	1,386人
(8)放課後児童健全 育成事業(4～6年生)	236人	234人	232人	234人	230人
(9)子育て短期支援事業	会議においていくつか案を提示し、ご意見を基に数値を設定します。				
(10)地域子育て支援拠点 事業	138,444 人回/年	131,928 人回/年	126,972 人回/年	123,120 人回/年	122,184 人回/年
(11)一時預かり事業 (幼稚園在園児を対象 とした一時預かり)	7,478 人日/年	7,204 人日/年	7,050 人日/年	6,816 人日/年	6,607 人日/年
(12)一時預かり事業 (幼稚園の預かり保育)	44,888 人日/年	43,242 人日/年	42,324 人日/年	40,914 人日/年	39,664 人日/年
(13)幼稚園における在園児 を対象とした一時預かり 事業(預かり保育)以外	5,672 人日/年	5,381 人日/年	5,175 人日/年	4,982 人日/年	4,893 人日/年
(14)病児・病後児保育 事業	7,179 人日/年	6,880 人日/年	6,682 人日/年	6,468 人日/年	6,340 人日/年
(15)子育て援助活動支援事業 (1～3年生)	2,392 人日/年	2,340 人日/年	2,288 人日/年	2,236 人日/年	2,184 人日/年
(16)子育て援助活動支援事業 (4～6年生)	884 人日/年	884 人日/年	884 人日/年	884 人日/年	884 人日/年

Ⅱ. 教育・保育（1号、2号、3号認定）の量の見込みの補正について

以下の補正の求め方において、平成27年度の見込み量を例に取り上げています。

単位（人）

■教育・保育の量の見込み	(1)1号認定	2号認定		3号認定		
		(2)幼児期の学校教育の利用希望が強い	(3)左記以外（保育園等利用）	(4)0歳	(5)1～2歳	
	3～5歳児 教育（認定こども園・幼稚園）			0～2歳児 保育（認定こども園・保育園）		
二一ズ量（平成27年度）	3,129	391	1,610	574	1,504	
0歳、1・2歳児の需要がともに実績を超え算出されたため、問12-5の「利用していない理由」を用いて補正を行った。				223	892	
実績等	1号認定	2号認定		3号認定		
		幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	0歳	1～2歳	
	3～5歳児 教育（認定こども園・幼稚園）			0～2歳児 保育（認定こども園・保育園）		
	平成26年6月現在					
	定員：4,350 入園者：3,579	定員：1,474 入園者：1,343 待機：31	定員：157 入園者：143 待機：15	定員：817 入園者：802 待機：70		



=

補正に関する考え方と
補正後の数値

* 事業名の冒頭の番号は、総括表に付与した番号となっています。

Ⅲ. 教育・保育（1号、2号、3号認定）の量の見込み算出方法と補正について

(1) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

[算出方法]

対象潜在家庭 類型	・フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部) ・専業主婦(夫) ・パートタイム×パートタイム(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部) ・無業×無業
対象年齢	3～5歳
利用意向率	今後、利用したい事業として、幼稚園(通常の就園時間の利用)または認定こども園を選択した者の割合

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位(人)

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	3,129	3,014	2,950	2,852	2,765
阿蘇地区	88	86	92	88	89
村上地区	598	567	562	545	542
睦地区	91	103	97	97	104
大和田地区	996	930	879	822	765
高津・緑が丘地区	683	652	637	616	602
八千代台地区	521	531	531	525	505
勝田台地区	152	145	152	159	158

- ・ 2号認定で幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者を1号認定枠で確保すると以下のようになります。

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位(人)

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	3,520	3,391	3,319	3,208	3,111
阿蘇地区	99	97	104	99	100
村上地区	673	638	632	613	610
睦地区	102	116	109	109	117
大和田地区	1,121	1,046	989	924	861
高津・緑が丘地区	768	734	717	693	677
八千代台地区	586	597	597	591	568
勝田台地区	171	163	171	179	178

→ +2号認定(学校教育への希望が強い者)のニーズ量(4ページ上)

(2) 2号認定（学校教育への希望が強い者）

【算出方法】

対象潜在家庭 類型	・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部) ・パートタイム×パートタイム(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
対象年齢	3～5歳
利用意向率	現在、利用している事業として、幼稚園（通常の就園時間の利用）または認定こども園を選択した者の割合

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	391	377	369	356	346
阿蘇地区	0	0	0	0	0
村上地区	47	44	43	42	41
睦地区	17	19	18	18	19
大和田地区	100	92	87	81	75
高津・緑が丘地区	105	100	97	93	91
八千代台地区	108	109	110	107	105
勝田台地区	14	13	14	15	15

(3) 2号認定（認定こども園及び保育園）

【算出方法】

対象潜在家庭 類型	・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部) ・パートタイム×パートタイム(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
対象年齢	3～5歳
利用意向率	今後、利用したい事業として、教育・保育事業のいずれかを選択した者の割合から幼児期の学校教育の利用希望が強い者の割合を控除した割合

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	1,610	1,551	1,518	1,467	1,423
阿蘇地区	97	96	103	97	99
村上地区	350	332	328	318	314
睦地区	57	65	61	61	65
大和田地区	448	420	393	367	338
高津・緑が丘地区	384	366	357	345	335
八千代台地区	169	172	171	169	163
勝田台地区	105	100	105	110	109

(4)、(5) 3号認定（認定こども園及び保育園＋地域型保育）

【算出方法】

対象潜在家庭 類型	・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋下限時間～120時間の一部) ・パートタイム×パートタイム(双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)
対象年齢	0～2歳
利用意向率	今後、利用したい事業として、保育事業のいずれかを選択した者の割合

(0歳児)

- ・通常の算出方法でのニーズ量は以下の通りです。

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	574	550	533	519	516
阿蘇地区	30	28	28	27	27
村上地区	108	105	102	98	97
睦地区	20	21	20	21	23
大和田地区	159	149	144	141	137
高津・緑が丘地区	123	117	113	110	112
八千代台地区	102	100	97	94	92
勝田台地区	32	30	29	28	28

- ・ニーズ量が実績を大きく上回るため、以下のような補正を行いました。問 12-5 で施設を利用していない理由として「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用したい」と回答した割合（0歳児の場合は61.2%）を控除しました。（資料 26-2-2 の3ページ参照）

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	223	213	207	201	200
阿蘇地区	12	11	11	10	10
村上地区	42	41	40	38	38
睦地区	8	8	8	8	9
大和田地区	61	57	55	55	53
高津・緑が丘地区	48	45	44	43	43
八千代台地区	40	39	38	36	36
勝田台地区	12	12	11	11	11

(1～2歳児)

- 通常の算出方法でのニーズ量は以下の通りです。

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位 (人)

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	1,504	1,429	1,371	1,327	1,316
阿蘇地区	61	63	60	59	59
村上地区	278	274	265	257	255
睦地区	36	37	37	39	41
大和田地区	418	380	359	342	336
高津・緑が丘地区	348	330	316	307	306
八千代台地区	289	271	264	256	253
勝田台地区	74	74	70	67	66

- ニーズ量が実績を大きく上回るため、以下のような補正を行いました。平成 25 年度の人口のうちの利用者数から利用割合を算出し、推計人口に乗じて「実績に基づいたニーズ量」を算出しました。さらに、利用希望はあるが利用できない方々（ニーズ調査のうち問 12-5 で「利用したいが、空きがない」、「利用したいが、経済的な理由で利用できない」、「利用したいが、時間の条件が合わない」、「利用したいが、質や場所が合わない」のいずれかに回答した方）のニーズ量を、先に算出した「実績に基づいたニーズ量」に加算した人数をニーズ量としました。

(資料 26-2-2 の 3 ページ参照)

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位 (人)

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	892	849	814	788	782
阿蘇地区	36	37	36	35	35
村上地区	165	163	157	153	152
睦地区	21	22	22	23	24
大和田地区	249	226	212	203	200
高津・緑が丘地区	206	196	188	182	182
八千代台地区	171	161	157	152	150
勝田台地区	44	44	42	40	39

IV. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの補正について

以下の補正の求め方において、平成 27 年度の見込み量を例に取り上げています。

なお、見込み量の補正にあたっては、9 ページ以降のような考え方で補正を行っています。

事業名		ニーズ量 (平成 27 年度)	実績等
■時間外保育事業			
(6)	保育が必要な0～5 歳児家庭で、18:00 以降の利用を希望	1,322 人	2,448 人
■放課後児童健全育成事業			
(7)	保育が必要な 5 歳児家庭で1～3 年生の時の学童保育所利用希望	1,559 人	【低学年】 受入定枠 1,045 人
	1～3 年生の時の学童保育所利用希望から週 1～2 回希望者を除いた場合	1,532 人	
(8)	保育が必要な5 歳児家庭で4～6 年生の時の学童保育所利用希望	1,196 人	
	就学前児童調査票ではなく、就学児調査票(3～4年生対象)を用いた上で、週 1～2 回希望者を除いた場合	236 人	
■子育て短期支援事業			
(9)	0～5歳児の全家庭で、泊りがけの用事でショートステイ利用したか、ひとりで留守番させた人の割合	0 人日/年	—
	実施自治体の実績を基に算出した場合	いくつかの補正方法が考えられる	
■地域子育て支援拠点事業			
(10)	0～2歳児の全家庭で、地域子育て支援センターの利用希望	138,444 人回/年	支援センター等 8箇所 71, 535 人回
	ニーズ量が実績を大きく上回っているが、絞り込みは困難。		



補正に関する考え方と
補正後の数値

事業名		ニーズ量 (平成 27 年度)	実績等
■一時預かり事業			
(11)	幼稚園在園児を対象とした一時預かりの利用希望	31,157人日／年	幼稚園 17園 51,409人日／年
	ニーズ量が実績を大きく上回るため、補正を行った。	7,478人日／年	
(12)	保育を必要とする家庭で、幼稚園の預かり保育を時間外保育代わりに利用希望	85,872 人日／年	保育園 8園 4,005 人日／年
	ニーズ量が実績を大きく上回るため、補正を行った。	44,888 人日／年	
(13)	上記以外 0～5 歳児の全家庭で、幼稚園在園児対象の一時預かりとベビーシッター等利用者を除いた利用希望	20,125 人日／年	保育園 8園 4,005 人日／年
	ニーズ量が実績を大きく上回るため、補正を行った。	5,672 人日／年	
■病児・病後児保育事業			
(14)	保育を必要とする 0～5 歳児家庭の病児保育等の利用希望	23,537人日／年	1,210 人日／年
	ニーズ量が実績を大きく上回るため、ニーズ量に稼働率を乗じて補正を行った。	7,179人日／年	
■子育て援助活動支援事業 就学児の放課後の居場所としてのファミリー・サポート・センター事業の利用意向			
(15)	1～3 年生の時のファミリー・サポート・センター事業について、全 5 歳児家庭の利用意向	2,392 人日／年	1箇所 2,566 人日／年
(16)	4～6 年生の時のファミリー・サポート・センター事業について、全 5 歳児家庭の利用意向	884 人日／年	



=

補正に関する考え方と
補正後の数値

* 事業名の冒頭の番号は、総括表に付与した番号となっています。

V. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出方法と補正について

(6) 時間外保育事業

[算出方法]

対象潜在家庭 類型	・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部) ・パートタイム×パートタイム(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
対象年齢	0～5歳
利用意向率	今後、利用したい事業として、教育・保育事業のいずれかを選択し、かつ、利用希望時間が18時以降である者の割合

※本市で実施した調査の結果、睦地区に関しては、所定の設問（平日定期的に利用したい教育・保育の事業について保育時間以降を希望する者）の回答者がいなかったため、地区における量の見込みが算出されませんでした。

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	1,322	1,267	1,230	1,191	1,167
阿蘇地区	41	41	42	40	42
村上地区	295	286	281	272	269
睦地区	0	0	0	0	0
大和田地区	380	356	336	319	304
高津・緑が丘地区	425	406	394	384	379
八千代台地区	85	85	84	82	80
勝田台地区	96	93	93	94	93

(7) 放課後児童健全育成事業（1～3年生）

[算出方法]

対象潜在家庭 類型	・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部) ・パートタイム×パートタイム(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
対象年齢	5歳児／小学生(1～2年生)
利用意向率	放課後の時間を過ごさせたい場所で、放課後児童クラブを選択した者の割合

- ・通常の算出方法でのニーズ量は以下の通りです。

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	1,559	1,532	1,486	1,464	1,410
阿蘇地区	56	56	54	59	57
村上地区	373	367	349	339	319
睦地区	60	59	60	64	68
大和田地区	333	325	316	303	281
高津・緑が丘地区	408	401	391	390	373
八千代台地区	204	208	212	217	220
勝田台地区	125	116	104	92	92

- ・1～3年生の時の学童保育所利用希望から週1～2回希望者を除いた場合の見込み量を算出しました。（資料26-2-2の6ページ参照）

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	1,532	1,506	1,460	1,439	1,386
阿蘇地区	55	55	53	58	56
村上地区	366	361	343	333	313
睦地区	59	58	59	63	67
大和田地区	327	320	310	298	276
高津・緑が丘地区	401	394	383	382	368
八千代台地区	201	204	209	214	216
勝田台地区	123	114	103	91	90

- ・就学前児童の算出方法では、ニーズ量が実績より高く算出される傾向があるため、就学児童用調査（1～2年生）のデータから算出しました。週1～2回希望者はいませんでした。

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	1,140	1,121	1,087	1,071	1,032

(8) 放課後児童健全育成事業（4～6年生）

[算出方法]

対象潜在家庭 類型	・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部) ・パートタイム×パートタイム(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
対象年齢	5歳児／小学生(3～4年生)
利用意向率	放課後の時間を過ごさせたい場所で、放課後児童クラブを選択した者の割合

- ・就学前児童調査票を用いた算出方法でのニーズ量は以下の通りです。

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	1,196	1,186	1,171	1,184	1,165
阿蘇地区	29	27	27	27	27
村上地区	325	321	320	323	317
睦地区	13	14	14	17	17
大和田地区	254	252	241	241	235
高津・緑が丘地区	347	342	342	350	348
八千代台地区	101	105	108	109	112
勝田台地区	127	125	119	117	109

- ・就学前児童の算出方法では、ニーズ量が実績より高く算出される傾向があるため、就学児童用調査（3～4年生）のデータから算出しました。

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	280	278	275	278	273
阿蘇地区	7	6	6	6	6
村上地区	76	75	75	76	74
睦地区	3	3	3	4	4
大和田地区	59	59	57	57	55
高津・緑が丘地区	81	81	81	82	82
八千代台地区	24	25	25	26	26
勝田台地区	30	29	28	27	26

- ・利用希望から週 1～2 回希望者を除いた場合の見込み量を算出しました。

(資料 26-2-2 の6ページ参照)

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位（人）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	236	234	232	234	230
阿蘇地区	6	5	5	5	5
村上地区	64	63	63	64	63
睦地区	3	3	3	3	3
大和田地区	50	50	48	48	46
高津・緑が丘地区	68	67	68	69	69
八千代台地区	20	21	21	22	22
勝田台地区	25	25	24	23	22

(9) 子育て短期支援事業

【算出方法】

対象潜在家庭 類型	全ての家庭
対象年齢	0～5歳
利用意向率	保護者の用事により、「子どもだけで留守番させた」者の割合
利用意向日数	「子どもだけで留守番させた」者の平均日数

※本市では、子育て短期支援事業について未実施ですが、手引き通りの算出方法においても量の見込みが算出されませんでした。そこで、ニーズ量を適切に算出するために、以下の案1～案3の補正が考えられます

- ・県内において、子育て短期支援事業の実績を積んでいるA市の実績を参考にしながら、平成24年度の実績と人口規模を基に、八千代市における0～5歳の人口規模に合わせて算出を行いました。なお、ニーズ調査の設問を用いていないため、市全体の推計としています。

(資料26-2-2の7ページ参照)

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位(人日/年)

案1	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	全市	260	249	242	234

- ・算出の手引きより、家族以外にみてもらわなければならなかった者のうち、「仕方なく子どもを同行させた」者の割合とその宿泊回数からニーズ量を算出しました。

単位(人日/年)

案2 ステップ1	実行期間					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	全市	999	958	930	900	882
	阿蘇地区	54	54	55	53	53
	村上地区	195	188	183	178	176
	睦地区	42	43	44	45	47
	大和田地区	339	316	299	281	268
	高津・緑が丘地区	194	186	179	174	172
	八千代台地区	65	64	63	62	60
	勝田台地区	110	107	107	107	106

- ・さらに、3 世代同居の場合は事業の利用が考えにくいため、国勢調査（平成 22 年度）において 5 歳児以下の世帯のうち、3 世代同居の世帯の割合を控除しました。

（資料 26-2-2 の 7 ページ参照）

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人日／年）

案 2 ステップ 2		実行期間				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	全市	927	889	863	835	818
	阿蘇地区	50	50	51	49	49
	村上地区	181	174	170	165	163
	睦地区	39	40	41	42	44
	大和田地区	315	294	278	261	248
	高津・緑が丘地区	180	173	166	161	160
	八千代台地区	60	59	58	58	56
	勝田台地区	102	99	99	99	98

- ・案 2 の補正值に基づき、さらに、今後導入した場合の実際の利用状況に近づけるために、子育て短期支援事業を近年導入した B 市における稼働率を参考にしながら、補正值に乗じました。

（資料 26-2-2 の 7 ページ参照）

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人日／年）

案 3		実行期間				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	全市	298	286	277	268	263
	阿蘇地区	16	16	16	16	16
	村上地区	58	56	55	53	52
	睦地区	13	13	13	13	14
	大和田地区	101	94	89	83	80
	高津・緑が丘地区	58	56	53	52	51
	八千代台地区	19	19	19	19	18
	勝田台地区	33	32	32	32	32

(10) 地域子育て支援拠点事業

[算出方法]

対象潜在家庭 類型	全ての家庭
対象年齢	0～2歳
利用意向率	地域子育て支援拠点事業を現在利用している者と、今後利用したい者の割合
利用意向日数	現在利用している者、今後利用したい者、今後利用日数を増やしたい者の月当たりの平均利用回数

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位（人回／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	138,444	131,928	126,972	123,120	122,184
阿蘇地区	2,849	2,873	2,784	2,709	2,703
村上地区	23,957	23,576	22,852	22,207	21,970
陸地区	2,731	2,779	2,760	2,923	3,120
大和田地区	49,115	45,391	43,288	41,456	40,890
高津・緑が丘地区	25,899	24,676	23,788	23,229	23,279
八千代台地区	22,156	21,117	20,506	19,997	19,719
勝田台地区	11,737	11,516	10,994	10,599	10,503

(11) 一時預かり事業（幼稚園在園児における在園児の利用：一時利用）

【算出方法】

対象潜在家庭 類型	・フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部) ・専業主婦(夫) ・パートタイム×パートタイム(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部) ・無業×無業
対象年齢	3～5歳
利用意向率	(1号認定に該当すると考える子どもの不定期事業の利用希望割合)×(不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合)
利用意向日数	不定期事業の利用意向のある者の平均日数

・通常の算出方法でのニーズ量は以下の通りです。

※本市で実施した調査の結果、阿蘇地区に関しては、所定の設問（不定期事業の利用意向のあった者の中で、利用希望日数に記入があった場合）の回答者がいなかったため、地区における量の見込みが算出されませんでした。

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人日／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	31,157	30,015	29,377	28,399	27,531
阿蘇地区	0	0	0	0	0
村上地区	6,306	6,018	5,974	5,807	5,802
睦地区	566	580	610	611	655
大和田地区	12,014	11,294	10,669	9,999	9,358
高津・緑が丘地区	5,373	5,154	5,054	4,891	4,811
八千代台地区	5,387	5,520	5,542	5,492	5,310
勝田台地区	1,511	1,449	1,528	1,599	1,595

・ニーズ量が実績を大きく上回るため、「幼稚園預かり保育を希望しない」者の割合を控除しました。（資料 26-2-2 の8ページ参照）

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人日／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	7,478	7,204	7,050	6,816	6,607
阿蘇地区	0	0	0	0	0
村上地区	1,514	1,444	1,434	1,394	1,392
睦地区	136	139	146	147	157
大和田地区	2,882	2,711	2,560	2,399	2,246
高津・緑が丘地区	1,290	1,237	1,213	1,174	1,155
八千代台地区	1,293	1,325	1,330	1,318	1,274
勝田台地区	363	348	367	384	383

(12) 一時預かり事業（幼稚園における在園児の利用：定期利用）

【算出方法】

対象潜在家庭 類型	・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋下限時間～120時間の一部) ・パートタイム×パートタイム(双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)
対象年齢	3～5歳
利用意向率	1.0
利用意向日数	2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者の「就労日数」

・通常の算出方法でのニーズ量は以下の通りです。

※本市で実施した調査の結果、阿蘇地区に関しては、所定の設問（不定期事業の利用意向のあった者の中で、利用希望日数に記入があった場合）の回答者がいなかったため、地区における量の見込みが算出されませんでした。

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人日／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	85,872	82,724	80,968	78,271	75,879
阿蘇地区	0	0	0	0	0
村上地区	6,794	6,395	6,320	6,101	6,079
睦地区	1,944	2,184	2,060	2,051	2,191
大和田地区	21,703	20,122	18,926	17,612	16,438
高津・緑が丘地区	26,011	24,603	24,022	23,088	22,648
八千代台地区	24,703	24,961	24,959	24,553	23,682
勝田台地区	4,717	4,459	4,681	4,866	4,841

・ニーズ量が実績を大きく上回るため、「幼稚園預かり保育を希望しない」者の割合を控除しました。（資料 26-2-2 の9ページ参照）

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人日／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	44,888	43,242	42,324	40,914	39,664
阿蘇地区	0	0	0	0	0
村上地区	3,551	3,343	3,304	3,189	3,178
睦地区	1,016	1,142	1,077	1,072	1,145
大和田地区	11,345	10,518	9,893	9,206	8,593
高津・緑が丘地区	13,597	12,861	12,557	12,069	11,839
八千代台地区	12,913	13,047	13,046	12,834	12,378
勝田台地区	2,466	2,331	2,447	2,544	2,531

(13) 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり事業（預かり保育）以外

【算出方法】

対象潜在家庭 類型	全ての家庭
対象年齢	0～5歳
利用意向率	不定期事業の利用希望のある者の割合
利用意向日数	不定期事業の利用意向のある者の平均日数

・通常の算出方法でのニーズ量は以下の通りです。

※本市で実施した調査の結果、阿蘇地区及び睦地区に関しては、所定の設問（不定期事業の利用意向のあった者の中で、教育・保育における不定期事業以外の利用希望日数に記入があった場合）の回答者がいなかったため、地区における量の見込みが算出されませんでした。

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人日／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	20,125	19,091	18,361	17,677	17,360
阿蘇地区	0	0	0	0	0
村上地区	4,282	4,159	4,050	3,892	3,876
睦地区	0	0	0	0	0
大和田地区	5,015	4,436	4,057	3,708	3,514
高津・緑が丘地区	8,119	7,845	7,665	7,529	7,530
八千代台地区	1,552	1,534	1,500	1,459	1,363
勝田台地区	1,157	1,117	1,089	1,089	1,077

・ニーズ量が実績を大きく上回るため、実績を用いて、保育園等の年間利用定員と利用延べ人数から実利用率を算出し、量の見込みに乗じました。（資料 26-2-2 の 10 ページ参照）

【全市・提供区域ごとの量の見込み】

単位（人日／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	5,672	5,381	5,175	4,982	4,893
阿蘇地区	0	0	0	0	0
村上地区	1,207	1,172	1,141	1,097	1,092
睦地区	0	0	0	0	0
大和田地区	1,413	1,250	1,143	1,045	990
高津・緑が丘地区	2,289	2,212	2,161	2,122	2,123
八千代台地区	437	432	423	411	384
勝田台地区	326	315	307	307	304

(14) 病児・病後児保育事業

[算出方法]

対象潜在家庭 類型	・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部) ・パートタイム×パートタイム(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)
対象年齢	0~5歳
利用意向率	病気やけがで保護者が休んだ者のうち、病児・病後児保育を利用した者、ファミリーサポートセンターを利用した者、留守番させた者の割合
利用意向日数	病児・病後児保育、ファミリーサポートセンター、留守番させた日数の総計を、利用意向のある者の実人数で割った数

- ・通常の算出方法でのニーズ量は以下の通りです。

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位 (人日/年)

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	23,537	22,558	21,907	21,207	20,786
阿蘇地区	1,286	1,279	1,296	1,256	1,264
村上地区	6,047	5,838	5,807	5,543	5,494
睦地区	73	74	74	77	82
大和田地区	5,838	5,430	5,096	4,853	4,635
高津・緑が丘地区	6,174	5,885	5,665	5,539	5,474
八千代台地区	3,637	3,586	3,507	3,470	3,373
勝田台地区	482	466	462	469	464

- ・ニーズ量が実績を大きく上回るため、実際に事業を実施した際の実績等をふまえる必要があると考えられます。そこで、国研究班調査「病児・病後児保育の実態把握と質向上に関する研究」の結果で病児・病後児保育の稼働率が全国平均で30.5パーセントとなっているため、算出された量の見込みに稼働率を乗じました。(資料26-2-2の11ページ参照)

[全市・提供区域ごとの量の見込み]

単位 (人日/年)

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	7,179	6,880	6,682	6,468	6,340
阿蘇地区	392	390	395	383	386
村上地区	1,844	1,781	1,771	1,692	1,674
睦地区	22	23	23	23	25
大和田地区	1,781	1,656	1,554	1,480	1,414
高津・緑が丘地区	1,884	1,794	1,728	1,689	1,670
八千代台地区	1,109	1,094	1,070	1,058	1,029
勝田台地区	147	142	141	143	142

(15)、(16) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

【算出方法】

対象潜在家庭 類型	全ての家庭
対象年齢	5歳
利用意向率	放課後の時間の過ごさせたい場所で、ファミリー・サポート・センターを選択した者の割合
利用意向日数	ファミリー・サポート・センター利用希望の平均日数

(1～3年生)

- ・調査結果より、回答者少数のため、市全体の推計としています。 単位（人日／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	2,392	2,340	2,288	2,236	2,184

(4～6年生)

- ・調査結果より、回答者少数のため、市全体の推計としています。 単位（人日／年）

	実行期間				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全市	884	884	884	884	884